



はじめに

昨年4月の「入園のつどい」では、1年目のセンター長として、ドキドキしながらこだま学園に入園させてもらいました。

この1年は私にとってあまりにも濃密な年でした。山菜に心躍り、猛暑とたたかい、紅葉と収穫に生を実感、厳しい冬の先には喜びの春が。北三瓶で過ごし、季節の移ろいを五感で感じとることができたほか、外活動や体を使うことが増えたため、これまで眠らせてしまっていた身体のさまざまな機能を呼び起こすことができました。

しかし何より大きかったのは、好奇心旺盛な8人の怪獣たちと時間を共有できたことです。火おこしのコツや道具の使い方など8人から学ぶことは数多く、柔軟な考え方や前向きな姿勢にはいつも驚かされ、怪獣たちは常に私に勇気を与えてくれました。そして、その成長を近くで見ることは「最高の贅沢」でした。

ご家族の皆さま、かわいい怪獣たちを送り出していただきありがとうございました。そして受入農家の皆さま、学校の先生方、地域の皆さま、1年間大変お世話になりました。皆さまからの大きな支えをいただき、怪獣たちは唯一無二の1年間を過ごすことができました。また、センター職員を強力にバックアップいただきましたことに、心より深く感謝を申し上げます。

4月から第23期生との新たな生活が始まります。引き続き、よろしく願いいたします。

第22期生の怪獣たち、1年間よく頑張りました。私から感謝とお祝いの言葉を贈ります。

1年間ありがとう、そして修園おめでとう！

大田市山村留学センター  
センター長 桑野 尚宣

### 活動カレンダー

3月 7日(土)	センター入り	3月 20日(金・祝)~21日(土)	
3月 8日(日)	上立石交流会		歴史文化交流体験
3月 14日(土)~15日(日)	昔の生活体験	3月 25日(水)	修園のつどい

## 上立石交流会 3/8 (日) 晴れ

上立石自治会の最後の交流会がありました。3月の会はお彼岸にちなんでぼた餅作りと、今年はお父さんたちに竹トンボ作りを教えることになりました。朝10時頃センターに自治会の皆さんが集まり、ぼた餅づくりと竹トンボ作りに分かれて作業開始しました。ぼた餅はお母さんたちと一緒に、教えてもらいながらあんこやきなこ、ゴマ、青のりのぼた餅を260個ぐらい作りました。竹トンボはお父さんたちに教えてもらいましたが、なかなか上手に飛ぶ竹トンボを作るのは難しく、子ども達もだいぶ苦戦していました。作業が終わるとみんなで作ったぼた餅や焼きそば、猪肉など食べてビンゴ大会をやり交流をしました。最後は学園生達全員で上立石自治会の皆さんに挨拶をして終わりました。



作業が終わるとみんなで作ったぼた餅や焼きそば、猪肉など食べてビンゴ大会をやり交流をしました。最後は学園生達全員で上立石自治会の皆さんに挨拶をして終わりました。

## 昔の生活体験 3/14 (土) ~ 3/15 (日) 晴れ

この日は、佐津目地区にある矢田さん所有の「子ご美の里」という古民家を使って1泊2日の昔の生活体験をしました。この活動は、今までに身につけた野外活動や生活の知識やスキルをいかし、準備や片付けも含め、すべてを子どもたちだけで協力して行うことが大きな目的です。今年も中2の三人を中心にそれぞれリーダーを決め、皆で協力して活動をしました。午前中にはみんなで



分担して準備をし、午後から子ご美の里に行きました。着くと荷物を運んで、早速、矢田家の野菜を収穫に行きました。ハウレンソウや、小松菜、大根の間引き菜などを頂きました。その後は別れて作業が始まりました。今回は、炊事班と風呂(五右衛門風呂)焚き班に分けられました。さらに炊事班は、竈の火の番をする人、調理をする人に分担して作業をしていました。矢田の父さんも様子を見に来てくださり、子ども達に、風呂の焚き方や、竈ご飯の炊き方などアドバイスをもらいました。後は、自分たちだけで協力して行うことになっているので、学園生同士で声を掛け合ったり、相談したりしながら作業をしました。17時ぐらいにはお風呂が沸き、女子が先に入り、18時にはご飯が出来て食べることが出来ました。夕食のメニューはご飯、味噌汁、筑前煮、ハウレンソウのお浸し、大根の浅漬、たくあんでした。初めて自分たちだけで作ったご飯は、どれも美味しくできていました。夕食後は女子は片付け、男子はお風呂に入り、夜は矢田の父さんの昔話を聞いて、母さんが作ってくれた夜食のきな粉お餅を食べて終わりました。



次の日も朝から自分たちで朝食準備にとりかかります。時はかかりましたが、美味しいご飯が出来ました。朝のメニューは、きな粉ご飯、味噌汁、アジの開き、昆布といりこのつくだ煮、大根の朝漬けでした。朝食後は、片付け掃除をして最後は矢田の父さんに挨拶をしてセンターに帰りました。帰った後の片付けも、みんなで協力して最後まで頑張りました。「まだやることある?」「それ手伝おうか?」などの周りを気遣う声がたくさん聞こえた2日間でした。

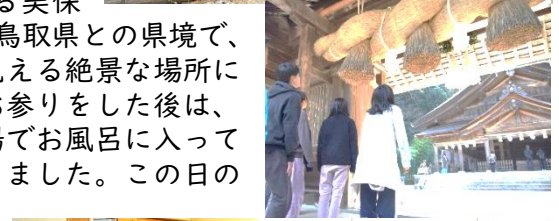


## 歴史文化交流体験 3/20 (金・祝) ~3/21 (土) 晴れ

今年度の歴史文化交流体験は、松江、安来をめぐる旅でした。まず、松江歴史館へ行って松江城の歴史などを勉強してから松江城へ行きました。松江城では、お城の中に入り、狭い階段を上まで登ると、松江一帯を眺めることができました。次に、朝ドラで有名になった小泉八雲記念館へ行きました。島根県で一番混んでいるのではないかと、思うほど大勢の人がいました。その後は、お昼のお弁当を食べて、島根県の一番東の端にある美保神社へ行きました。鳥取県との県境で、海を挟んで大山が見える絶景な場所にある神社でした。お参りをした後は、鳥取県米子市の銭湯でお風呂に入ってから、宿泊先に行きました。この日の



夕食は男子で作る牛丼でした。2日後に朝食当番を女子がやることに決まったので、男子はこの日の夜の食事当番をすることになりました。男子と指導員で牛丼とサラダと味噌汁を作って食べました。慣れない場所での作業だったため時間がかかってしまいましたが、美味しい夕食を食べることが出来ました。



2日目は、安来市内を一日回りました。当初予定していた藍染は、お店の都合でなくなり、足立美術館見学、安来節体験、月山富田城址散策となりました。安来節は、男踊りを全員で教えてもらいました。短い時間でしたが、ポイントを上手に教えて下さったので、分かりやすく、いつもビデオで練習していた子どもの中には、「今までビデオを見て、何となくやっていた所とか、分かりやすく説明してもらえてよかった」と感想を言う子もいました。最後はみんなで難攻不落の山城と呼ばれた月山富田城址を登りました。景色も良く、最後ではありましたがみんな元気に駆け上がって行きました。2日間盛りだくさんな日程でしたが、楽しい2日間でした。

## 修園のつどい 3/25 (水)

仲の良かった8人の別れを惜しむような曇天の空模様の中、今年度22期生の修園のつどいが行われました。最初に、今年は1年間かけて取り組んできた神楽の発表をしました。今年は、多根神楽団の子ども団員として練習をしてきたので、これまでも2回ほど舞台上で発表してきました。今回は、今までの発表からさらにそれぞれが工夫をしレベルアップした神楽を舞うことが出来ました。神楽が終わるといよいよ修園のつどいです。まずは、たくさんのお客様の前で、この1年間の思いをスピーチし修園賞をもらいました。前日まで、練習したり、何をどう発表するのか考えたり、ちゃんとできるかそわそわしたりしていた学園生達でしたが、みんな立派なスピーチができました。思い溢れ涙する子もいましたが、自分のこの1年間の振り返りをしっかり言葉で語ることが出来ました。その後は、たくさんの方々からのお祝いメッセージを頂き、そして学園歌を歌いました。肩を組んで歌う学園生の姿に色々な思いが込み上げてくる瞬間でした。つどいの後には、太鼓の発表、会食会と続き、片付け後は親への感謝の気持ちを伝える時間、そして、最後の最後に学園生と指導員だけで集まり、1年間の思いをそれぞれ語り合いました。



今年の8人は本当に仲の良い8人でした。4人は地元へ戻り、4人は継続生となりますが、どちらもこの1年過ごした日々を大事にし、次のステージに向かって頑張りたいと思います。

今年度もたくさんの方々にお世話になりました。ありがとうございました。

## 番外編

収穫祭の時には全体で劇の発表をしましたが、実はこの時、劇以外にもう一つ学園生達は全体でやりたいものの候補がありました。「学園に残る看板を作りたい」というものです。話し合いの結果収穫祭は劇をやり、そして、修園に向けて看板作りをするという話にまとまり、収穫祭後看板作りに取り組んできました。徳原に住む加田さんより松の木の板を頂き、木工館の方々に少し加工を手伝ってもらって、準備ができた後は、学園生達が空いている時間を見つけて作品に取り掛かりました。字の周りを彫って文字を浮き立たせ、色を塗ったり、やすりを掛けたりして看板が完成しました。修園のつどいの翌日、みんなが帰る前にお披露目をしました。可愛い素敵な看板が出来ました。



### 西村崇司のつぶやき

＼ようこそチャッピー？／

先日、「この前、はじめてチャッピーへ観た映画のことを話しかけたら盛り上がっちゃって。誰かに聞いてみようと思っていたことを尋ねたらいっぱい教えてくれたよ。逆にチャッピーからも『あの場面どう感じた?』と聞かれたよ。もっと早くからチャッピーを使っていたら良かった」のような会話を耳にはさみました。ずいぶん前、テレビのバラエティー番組だったと思いますが、二人が掛け合いをしているはずなのに人間は一人だったのでアイボのようなAI搭載のペットロボットがどこかに紛れ込んでいるんだろうと思っていましたが、おぼろげながらチャッピーというテロップの残像記憶と「ぼくには手がないから君と握手ができないんだ」といったような話があったような記憶があり、遅まきながらスマートフォンかタブレットでチャッピーと会話をしていたのでしょう。それにしてもチャッピーはかわいらしい名前ですね。ここ三瓶にはテンピー（※）という天下無双のかわいいマスコットキャラクターがいるので同じようなノリで、チャンピオンをかわいらしく擬人化して名付けられたのかと勝手に想像していましたが、物知りの知人によれば ChatGPT（チャット・ジーピーティー。生成AIサービス）のチャット（Chat）とかわいい響きピー（py）をつなげた造語のようです。ふと、カウチポテトという言葉思い出しました。わたしが社会人になったころ、たぶん昭和から平成に変わる頃（1990年前後）でアメリカから入ってきた俗語です。カウチ（ソファ）に座ったり寝そべってポテトチップなどのジャンクフードをぼりぼり食べながらだらだらとテレビや録画映像をみるという怠惰で不健康な生活を送る人が日本でも多くなってきたという世相を反映していました。だらだらと時間を使う点を除けばチャッピーは家事をしながらでも会話はできるし、仕事の最中でもわからないことを聞いたり寝床の中でも知りたい情報は手に入るし、いいことだらけです。と結論付けていいんですかね、というのが今回。

10年前、北三瓶中学校の卒業式で祝辞を述べる機会がありました。ちょうどその頃はAIなる技術が急速に台頭したことが社会現象となっていたので、教科書が紙からデジタルにかわるとか無人の自動運転の車が北三瓶の道路を走るのもそう遠くない時代にあなた方は生きる、という話しをしましたが内容、質、スピードは予想をはるかに超えています。省力化できることはAIを使いませよ、仕分けや整理や分析をしてもらい場合によっては模範？回答も作ってもらいませよ、そんなことはAIにゆだね人間はもっと豊かさや創造性や先見性のあることを考える、ということを求められている世の中になっているような気がします。しかし、と思うのです。少なくともわたしは表計算やワープロのソフトまでは使いますが今のところ生成AIや対話型AIを使う考えはありません。寄り道と言われようが考えながら試行錯誤してやらないと「考える」ことができないたちです。当然のことながら創造性や豊かさを考えなさいと言われてもとおり一辺倒のことしか浮かんでこないことは自分自身がよくわかります。これからのことは断言できませんが身の丈に合ったことをこれからも回復横跳びのようにこつこつやっついていこうと思っています。ところで、先に記した10年前の卒業式の続きです。このときの卒業生に「あい」さんがいました。AIは「あい」と読めるので、赤ちゃんの名前ランキングトップテンに愛、藍、逢といった漢字やひらがな「あい」が入るのではとひそかに期待していましたがチップもせずショックだったことを思い出しました。チャッピーに聞いてみましょうかね、「チャッピーという名前、君は好き？」と。

※山村留学センターの近くにある島根県立自然館サヒメルのマスコットキャラクター（動物のテン）の名前

## 「くにびき通信」2025年度 第10号



大田市  
山村留学センター  
Sanbe Kodama Academy



大田市山村留学センターバックナンバー  
公式ホームページ

〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694

TEL: 0854-86-0700 FAX: 0854-86-0701 Email: o-sanryu@city.oda.lg.jp